



祐介の目

大田ゆうすけ
(福山市議会議員)

No.55

毎月1日号に掲載

展した。市民がこの備後の地で健やかに育ち、学業や事業等に成功した背景には、藩校・誠之館を創設した阿部正弘公や、備後出身の英霊の尊い守護がある。この事を忘れず、多くの方に備後護国神社に参拝して

いただきたいものである。

備後護国神社・護持会

福山城の北側に鎮座する護国神社は、文化10年(1813)に福山藩主の阿部氏が建立した阿部神社と昭和31年に合併して備後護国神社となった。御祭神は歩兵第41連隊をはじめとする備後出身の護国の英霊(31450柱) および阿部正弘公をはじめとする歴代備後福山藩主である。

境内には多数の戦没者慰霊碑が並び、その碑文を読むだけでも胸が詰まる。また、阿部家ゆかりの建造物も多く、宮本武蔵の腰掛石もある。しかし、近年は戦友会も解散し、遺族会も高齢化して備後護国神社の運営は非常に苦しい。この度、有志により同神社の維持発展を担う護持会が設立され、私が初代会長の重責を担うこととなった。

戦後70年を経た今日、福山市は空襲の焼け野原から復興を成し、県下第2の都市として発

3月27日、護持会設立総会が開催された。総会に先立ち緑町公園にて歩兵第41連隊記念碑の除幕式と、ココローズのミスタードーナツ前にて連隊の西門門柱の移設お披露目が行われた。記念碑は38年もの間、連隊跡地(緑町公園)ではないJ A福山に建っていたが、福山市遺族会の尽力により移設が叶った。巨大な石碑やレンガ造りの門柱の移設工事は困難を極め、無事に完了して心から安堵している。

記念碑や門柱は緑町公園やココローズの新たなシンボルとなり、多くの人の目に触れて、反戦平和を歴史に学ばし助となるだろう。護持会活動としては、ばら祭やみたま祭における出店を予定しており、若い世代にも楽しめる活動を予定している。多くの方の護持会(年会費三千円)への入会を心待ちにしている。

護持会入会…電084・922・1180(備後護国神社)